

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	試験の種類 新 規 の 続 別	試験実施場所(数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, ねらい〕 処理時期: 散布薬量 ＜水量/a＞; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
5. ヤマノイ モ	(1) 改良C-MH 液 (エルノー) 〔日本ヒドラ ジン〕	マレイン酸ヒ ドラジドコリ ン塩……………39	適用性 継 続	青森畑園. (1)		継	・判定済み.
6. チューリ ップ・ユ リ等球根 類	(1) MGC-140 液 〔三菱瓦斯化 学〕	塩化コリン ……………30	適用性 新 規	新潟, 富 山. (2)	〔秋植え慣行, 球根肥大 促進〕 球根肥大初期: 500ppm (600倍), 1,000ppm (300倍); 茎葉処理.	継	・試験年次不足.
7. ツツジ類	(1) S-07 液 (シミセブン) 〔住友化学・ 山本農薬〕	ウニコナゾー ル…500ppm	適用性 新 規	野菜茶試, 新潟, 福 岡園研. (3)	〔露地慣行, 矮化・着蕾 数増加〕 新梢伸長初期: 25, 50 ppm; 茎葉処理.	継	・試験年次不足(品種 を絞って検討).
8. ハクサイ・ タマネギ	(1) E-1 水和 (サカエ1号) 〔農作物栽培 工学研究会〕	糖質……………95	作用性 新 規	兵庫淡路. (1)		継	・判定済み.

昭和61年度畑作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和61年度畑作関係除草剤の試験成績中央検討した。
 討会を昭和61年12月10日, 植調会館会議室において開催した。このうち, 適用性試験については, 慎重に試験成績を検討し, 実用化についての判定を行なった。
 本年度供試された畑作関係除草剤は, 定性試験6剤, 作用性試験27剤, 適用性試験32剤であつた。その結果は, 次表の通りである。

昭和61年度 畑作除草剤試験中央判定および使用基準

適用性試験

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1. ANK-553 細粒 ・ペンディメタ リン……2% 〔ゴーゴーサン普 及会〕	こんにゃく	継						継：効果の再検討。
2. CG-119乳 ・メトラクロ ール……45% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	実	土 壌	播 種 後	20~40m/	全 土 壌	寒地、寒 冷地。	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。
	とうもろこし	継						継：効果の再検討。
	ばれいしょ	継						継：効果・薬害の再 検討。
	こんにゃく	継						継：効果・薬害の再 検討。
3. CG-119乳 +アトラジン水 和(現地混用) ・メトラクロ ール……45% ・アトラジン ……47.5% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	20~30m/ +15g	全 土 壌	寒 地	継：適用地域の拡大。
4. CG-119乳 +CAT水和 ・メトラクロ ール……45% ・CAT……50% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
5. CG-119・P 水和 ・プロメトリン ……20% ・メトラクロ ール……30% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	30 ~ 40 g	全 土 壌	寒冷地、 温暖地	継：適用土壌の拡大、 薬量の検討。
					20 ~ 30 g	火山灰土	暖 地	
	落 花 生	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	30 ~ 40 g	全 土 壌	温 暖 地	継：薬量の検討。
					20 ~ 30 g	火山灰土	暖 地	

薬 剤 名 (委託者名)	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
6. CG-119・P 細粒 ・プロメトリン ……………1% ・メトラクロール ……………2% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	実 ・ 継	(寒冷地以西については従来通り)					継：効果・安定性の 確認。
	落 花 生	実	表 面 混 和	マルチフィ ルム被覆直 前	200~300g 400~500g	全 土 壌	寒冷地、 温暖地東 部	
7. CG-123 フロアブル ・メトラクロール ……………25% ・アトラジン ……………15% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	とうもろこし	実 ・ 継	茎 葉	とうもろこ し2~4葉 期	20~40ml	全 土 壌	寒 地	継：効果の再確認。
8. Dowco-453 ①乳 ・ハロキシホッ プ……………10% 〔ダウケミカル日本〕	大 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml 7.5~10 ml	全 土 壌	寒 地 寒冷地、 温暖地、 暖地	・イネ科雑草優占圃 で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	小 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml 7.5~10 ml	全 土 壌	寒 地 寒 冷 地	
	菜 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml	全 土 壌	寒 地	
	て ん 菜	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml	全 土 壌	寒 地	
9. EL-107 水和 ・イソキサベン ……………50% 〔日本イーライリリー〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
	とうもろこし	継						
10. Hoe-171 乳 ・フェノキサプ ロップエチル ……………9% 〔ダウケミカル日本〕	大 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	全 域	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	小 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	寒地、 <u>寒 冷地</u>	
	菜 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	寒地、 <u>寒 冷地</u>	
	かんしょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	温暖地、 暖地	

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品／a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
10. Hoe-171 ①乳 (つづき) 〔ヘキストジャパン、三共〕	て ん 菜	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10m/	全 土 壤	寒 地	
11. Hoe-866 液 ・グルホシネー ト……18.5%	大 豆	実 ・ 継	茎 葉	播種10日前	30～50m/	全 土 壤	暖 地	継：効果の確認，処 理時期の検討，適 用地域の拡大。
〔バスタ協議会〕	かんしょ	継						継：処理時期，処理 方法の検討。
	ばれいしょ	継						継：薬量，効果，薬 害の再検討。
	こんにゃく	継						継：効果・薬害の再 検討。
12. HOK-833 細粒 ・DCMU ……1.5% ・MCC…8%	大 豆	継？						・薬害，効果不安定。
〔北興化学〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壤	播 種 後	500～600g	火山灰土	温暖地東 部	継：適用地域，土壌 拡大。
	かんしょ	実 ・ 継	土 壤	挿 苗 後	500～600g	火山灰土	温暖地東 部	継：薬量と効果・薬 害の確認。
13. KUH-813 乳 ・オルソベン カーブ…50% ・リニユロン ……7.5%	落 花 生	実	土 壤	播 種 後	60～80m/	全 土 壤 (砂土を 除く)	温 暖 地	
〔クミアイ化学〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壤	播 種 後	60～80m/	火山灰土	暖 地	
						全 土 壤	寒冷地， 温暖地	継：適用地域の拡大。
	ばれいしょ	実	土 壤	植 付 後	80～100m/	全 土 壤	寒 冷 地	
					60～80m/		温暖地， 暖地	
14. KUH-813 細粒 ・オルソベンカ ーブ……8% ・リニユロン ……1.2%	とうもろこし	実 ・ 継	土 壤	播 種 後	500～600g	全 土 壤	寒冷地， 温暖地， 暖地	継：適用地域の拡大。
	ばれいしょ	実	土 壤	植 付 後	500～600g	全 土 壤	温暖地，	

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使用量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
14. KUH-813 細粒 (つづき) 〔クミアイ化学〕	ばれいしょ (つづき)						暖地	
15. MK-140N 水和 ・アクロニフェ ン………30% ・ニトラリン ………45% 〔三菱化成〕	大 豆	継						継: 効果・薬害の再 検討.
16. NC-302① フロアブル ・キザロホップ エチル…10% 〔日産化学〕	小 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒地, <u>寒 冷地</u>	・イネ科雑草優占圃 場で使用する. ・体系処理: 広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る. 継: 低薬量(5ml) の検討. ・イネ科雑草優占圃 場で使用する. ・体系処理: 広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る.
	菜 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒地, <u>寒 冷地</u>	
	かんしょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	<u>温暖地</u> , 暖地	
17. NP-55 乳 ・セトキシジム ………20% 〔日本曹達〕	ばれいしょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	15～20ml	全 土 壌	温暖地, 暖地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する. ・体系処理: 広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る. 継: 全面処理の検討.
	<u>こんにゃく</u>	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	15～20ml	全 土 壌	寒冷地, 温暖地	
18. NS-100乳 ・フェンメディ ファム…13% ・デスメディフ ァム……3% 〔ビートW研究会〕	て ん 菜	実	茎 葉	広葉一年生 雑草発生揃 期	40 ml	全 土 壌	寒 地	
19. NS-101乳 ・フェンメディ ファム…10% ・エソフメセー ト………10% 〔ビートW研究会〕	て ん 菜	継						

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
20. NY-842 水和 ・ピリデート ……………25% ・アトラジン ……………20% 〔日本農業、八洲 化学〕	とうもろこし	継						継：効果・薬害の再 検討。
21. PP-748液 ・PP-748 ……………25% 〔アイシーアイジ ャパン〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
22. S-28 細粒 ・ブタミホス ……………3% 〔住友化学〕	落 花 生	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	500～600 g	火山灰土	温暖地、 暖地	・ツユクサに対して 効果が劣る。 継：適用土壌の拡大。
	ばれいしょ	実 ・ 継	土 壌	植 付 後	500～600 g	全 土 壌	寒 冷 地	
						火山灰土	温暖地東 部	
					400～500 g	全 土 壌	暖 地	
23. SKH-01 水和 ・シアナジン ……………50% 〔シェル化学、石 原産業〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	20～40 g	全 土 壌	温暖地以 北	継：適用地域、処理 時期の拡大。
			茎 葉	とうもろこ し4葉期	20～30 g	全 土 壌	寒 冷 地	
	ばれいしょ	実 ・ 継	土 壌	植付後萌芽 前	10～15 g	全 土 壌	寒 地	継：10gの効果の確 認。
24. SKH-301 乳 ・シンメスリン ……………50% 〔シェル化学〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
25. SL-236乳 ・フルアジホッ プ……………35% 〔石原産業〕	大 豆	実 ・ 継（従来通り）	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10m/	全 土 壌	全 域	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。 継：効果の確認。

薬 剤 名 (委託者名)	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使用 量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
26. SL-236① 乳 ・フルアジホッ プーPーブチ ル……17.5% 〔石原産業〕	大 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	全 域	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	小 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒 冷 地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	葉 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒地、寒 冷地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。 継：低薬量(5ml) の検討。
	落 花 生	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	5～7.5ml	全 土 壌	温暖地、 暖地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	か ん し ょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	5～7.5ml	全 土 壌	温暖地、 暖地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	て ん 菜	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒 地	
27. SSH-43 水和 ・イソウロン ……50% 〔塩野義製薬〕	さとうきび	実 ・ 継(従来通り)	土 壌	植 付 後	10～20g 〔ただし、 砂土～砂 壤土は10 ～15g〕	全 土 壌	暖地、沖 縄県	継：島尻マージでの 薬量、薬害の検討。
28. SSH-43粒 ・イソウロン ……1% 〔塩野義製薬〕	さとうきび	実 ・ 継(従来通り)	土 壌	植 付 後	600～800g 〔ただし、 砂土～砂 壤土は 200～400 g〕	全 土 壌	暖地、沖 縄県	継：島尻マージでの 薬量、薬害の検討。
29. SSH-55乳 ・トリフルラリ ン……14% ・プロメトリン ……6% 〔塩野義製薬〕	小 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
	陸 稲	継						継：効果・薬害の再 検討。
30. トリフルラリン乳 ・トリフルラリ ン……2.5% 〔塩野義製薬〕	小 豆	実	土 壌	播 種 後	25～30ml	全 土 壌	寒冷地、 温暖地	

薬 剤 名 (委託者名)	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使用量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
31. トリフルラリン 粒 ・トリフルラリン……2.5% 〔塩野義製薬〕	小 豆	実	土 壌	播 種 後	500~600g	全 土 壌	寒冷地, 温暖地	
	陸 稲	実	土 壌	播 種 後	400~500g	火山灰土	温暖地東 部	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・覆土2cm以下の 場合、薬害の恐れ あり、特に注意が 必要である。
					300~400g		暖 地	
32. YF-65①液 ・1,1'-エチレ ン-2,2'-ビ ピリジウムジ ブロミド ……7% ・1,1'-ジメチ ル-4,4'-ビ ピリジウムジ クロリド ……5% 〔アイシーアイジ ャパン〕	かんしょ	実 ・ 継	茎 葉	生育初期	60~80ml	全 土 壌	温暖地東 部	・畦間処理。 ・専用噴頭や飛散防 止カバーを使用す る。 ・低圧で、風向きな どに注意し、雑草 以外にかからない よう十分に注意す る。
	ばれいしょ	実 ・ 継	茎 葉	植付後、萌 芽前	40~60ml	全 土 壌	寒 冷 地	
	こんにゃく	実 ・ 継	茎 葉	植付後、萌 芽前	60~80ml	全 土 壌	寒冷地, 温暖地東 部	
				培土後、雑 草生育初期 (畦間処理)			温暖地東 部	

注) ① アンダーライン(実線)は、本年度拡大または追加された部分である。なお、薬剤名のアンダーラインは、本年度はじめて使用基準の作成されたものである。

② アンダーライン(点線)は、その一部が拡大されたものである。

昭和61年度水稻・畑作関係 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和61年度水稻・畑作関係生育調節剤試験成績検討会は、昭和61年12月8~9日、薬業健保会館会議室(東京都千代田区永田町)において開催された。

水稻生育調節剤試験は、健苗育成を目的としたもの20剤(作用性14剤のべ22点、適用性8剤

のべ44点)、登熟向上を目的としたもの5剤(作用性5剤のべ11点、適用性2剤のべ10点)、倒伏軽減効果を目的としたもの14剤(作用性10剤のべ19点、適用性9剤のべ100点)、肥培管理と収量性の検討2剤(のべ12点)について成績の報告および検討が行なわれた。